

第46回運営小委員会 議事録

1. 開催日時：令和3年11月18日（木） 10:00～12:00
2. 開催方法：Webexによるオンライン開催
3. 出席者：渡邊、阿部（東北大学）、山下（東京大学）、高木・山本（東芝ESS）、宮澤（東京電力HD）、久宗（WANO）、荘田（三菱重工）、長瀬（日立GE）、伊藤（日立）、河村、藤原（電中研）、大橋（オルガノ）、勝村（東京大学名誉教授）、塙（JAEA）、杉野（日本原電）【敬称略、順不同】

4. 議事

(1) 前回議事録の確認

前回運営小委員会議事録について了承された。

(2) 第42回定例研究会について

山本委員（定例研究会WG担当）より、資料に基づき今後の定例研究会の基調テーマ案及び次回定例研究会の案が説明され提案の通りに了承された。

次回開催は、3月7日（月）で決定された。

(3) 水化学部会賞の運用方法と細則の見直しについて

杉野委員（庶務担当）より、資料に基づき水化学部会賞の運用方法とガイドライン及び細則の変更案について説明があり、記載内容を一部修正することで了承され、同日午後の全体会議で承認を得ることとした。

(4) 大会年会開催方式に関して

宮澤委員（部会等運営委員会担当）より、資料に基づき大会年会の開催方式に関するアンケートへの水化学部会としての回答案が説明され、提案の通りの内容で事務局へ回答することで了承された。

(5) 2022年春の年会 企画セッションについて

河村委員（企画担当）より、資料に基づき2022年春の年会 企画セッションのテーマを「水化学管理指針の改定に向けた議論」とし、標準委員会との共催とすることで標準委員会の承認を得、企画書を学会事務局へ提出したとの報告がなされた。

(6) 2021年度部会報の内容案について

大橋委員（広報担当）より、資料に基づき部会報の目次案が示され、提案の通りの内容で執筆することで了承された。

(7) AWC2022の準備状況について

阿部委員（AWC2022 WG 担当）より、資料に基づき AWC2022 の検討状況が報告された。

開催地は当初 東北大学青葉山キャンパスでの開催としていたが、コロナ禍の状況を踏まえオンライン形式とすることとした。今後はオンラインプラットフォームの仕様、委託業者の選定、参加費などを WG で検討することとする。また部会の繰越金を充当することについて、この後の議題で審議する旨説明があった。

また、WG メンバーを中心とした実行委員会を結成することとし、同日午後の全体会議で承認を得ることとした。

(8) 2022 年度部会予算について

伊藤委員（財務担当）より、資料に基づき 2022 年度の部会予算について説明があり、AWC2022 の費用の一部を繰越金から充当することに対しては、学会員、部会員へ還元する目的であれば問題ないとの学会事務局の見解が示された。これを受け、AWC2022 は開催費の一部を部会繰越金から充当することです承された。

(9) 水化学ハンドブックの改訂状況について

杉野委員（ハンドブック改訂 WG 幹事）より、資料に基づきハンドブック改訂 WG の状況が報告された。また出版社と原子力学会との契約書の案が示され、総務財務委員会での審議の後、契約手続きに入るとの説明がなされた。発刊は来年夏頃となる見込み。

(10) HWC 技術報告書について

山本委員より、HWC 技術報告書について報告された。

本報告書について現在コメント修正中であり、2021 年内に水化学部会のホームページに掲載する予定である旨紹介があった。

以上